



はな街道理事長である細田 安兵衛氏が中央区名誉区民に選ばれました

10月19日、はな街道の理事長である、細田安兵衛氏（株式会社榮太樓總本舗相談役）が名誉区民に選ばれ、同日、区議会議場で顕彰式が行われましたのでご報告致します。



はな街道 理事長 細田安兵衛氏

昭和2年、東京市日本橋区（現東京都中央区）に生まれる。

昭和25年、株式会社榮太樓總本舗に入社される。昭和47年には代表取締役社長に、平成7年には取締役会長に、平成12年には相談役にそれぞれ就任され、現在に至る。

この間、「味は親切にあり」を社是として、歴史と伝統を重んじながら、一品一品に愛情を込めて菓子作りに励む一方、進取の気性をもって新商品の開発を始め、工場新設や新技術の導入を積極的に進められ、150余年続く老舗の「のれん」を磨き育てられる。

全国和菓子協会においては、旧暦の6月16日に餅や菓子を食べて厄払いをする年中行事が行われていたことにちなみ、6月16日（新暦）を「和菓子の日」として制定することに尽力され、現在では、毎年全国各地で創意を凝らした催し物が盛大に開催されている。こうした実績などにより、平成3年には全国和菓子協会会長、平成19年には名誉会長に就任され、和菓子業界のさらなる発展に指導的な役割を果たされる。

また、江戸茶道の祖といわれ350年余続いている「宗偏流」の分家「時習軒」の11世家元として茶道文化の普及に努められるとともに、江戸老舗の商法とその実態を綴った「江戸っ子菓子屋のおつまみ噺」を著すなど、文化経済人として活躍されている。

地域社会にあっては、昭和43年から名橋「日本橋」保存会副会長に就かれ、名橋「日本橋」の美化活動を始め、平成23年実施の「日本橋架橋百年祭」を成功に導かれるなど、「日本橋」の保存や地域の活性化に指導的な役割を果たされる。

平成4年からは、中央区観光協会副会長の重責を担われ、特に、江戸以来培われてきた歴史や文化、江戸っ子気質の残る下町情緒などを幅広く学ぶ「中央区観光検定・ジュニア観光検定」の企画・監修に深く携わられるなど、本区の観光事業や商工業文化の発展に多大なる貢献をされる。

さらに、中央交通安全協会副会長、東京湾大華火祭実行委員会副会長、中央防犯協会顧問、中央警察懇話会会長、中央区消防団運営委員会委員、日本橋防火防災協会会長、学校法人日本橋女学館理事長など数多くの要職にも就任され、その優れた先見性と指導性を遺憾なく発揮されている。

こうした多方面の功績により平成6年には藍綬褒章を、平成11年には勲四等瑞宝章をそれぞれ受章される。

こうした多方面の功績により平成6年には藍綬褒章を、平成11年には勲四等瑞宝章をそれぞれ受章される。

中央区【区のお知らせ 平成24年11月1日号】より
名誉区民には東京都江戸東京博物館館長の竹内誠氏の二氏が名誉区民に選ばれました

